

第5期【償還】

運用報告書(全体版)

ESG海洋関連株式ファンド (愛称「海」)

【2024年5月31日償還】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ESG海洋関連株式ファンド(愛称「海」)」は、2024年5月31日をもちまして信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。ここに設定以来の運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対し改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2022年4月27日から2024年5月31日(当初2032年1月23日)までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所等に上場しているブルーエコノミー※関連企業の株式(これに準ずるものを含みます。)に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※ブルーエコノミーとは、海や水と直接的または間接的に関連する経済分野における、海洋生態系の回復・保護・維持、クリーンテクノロジー、再生可能エネルギー、循環型資源利用等に基づいた経済活動を指します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	DWSコンセプト・ESGブルーエコノミー(円建て、ヘッジなしクラス)およびマネー・リクイディティ・マザーファンドを主要投資対象とします。
	DWSコンセプト・ESGブルーエコノミー(円建て、ヘッジなしクラス)	世界の株式等を主要投資対象とします。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	年2回、1月および7月の各月の25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (円ベース)		MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み) [円換算後]		債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配率)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
(設定日) 2022年4月27日	円 銭 10,000	円 —	% —	ポイント 686.14	% —	ポイント —	% —	% —	% —	百万円 598
1期 (2022年7月25日)	9,545	0	△ 4.6	692.22	0.9	—	—	0.3	96.4	1,038
2期 (2023年1月25日)	9,518	0	△ 0.3	688.99	△ 0.5	—	—	0.3	97.7	1,059
3期 (2023年7月25日)	10,563	25	11.2	812.86	18.0	—	—	0.4	98.0	814
4期 (2024年1月25日)	10,685	0	1.2	—	—	246,159.5459	—	0.2	98.0	581
(償還時) 5期 (2024年5月31日)	(償還価額) 12,852.02	—	20.3	—	—	281,365.8549	14.3	—	—	391

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (円ベース) およびMSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み) [円換算後] は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (円ベース) は当該日前営業日の現地終値です。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み) [円換算後] は、当該日前営業日の現地終値に為替レート (対顧客電信売買相場の当日 (東京) の仲値) を乗じて当社が算出しています。

(注) 2023年12月29日にMSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (円ベース) からMSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み) [円換算後] に参考指数を変更いたしました。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み) [円換算後]		債券組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2024年1月25日	円 銭 10,685	% —	ポイント 246,159.5459	% —	% 0.2	% 98.0
1月末	10,749	0.6	247,919.8547	0.7	0.2	98.3
2月末	11,343	6.2	260,555.4390	5.8	0.2	98.5
3月末	11,909	11.5	271,229.6662	10.2	0.2	98.1
4月末	12,160	13.8	275,232.0972	11.8	0.3	98.3
(償還時) 2024年5月31日	(償還価額) 12,852.02	20.3	281,365.8549	14.3	—	—

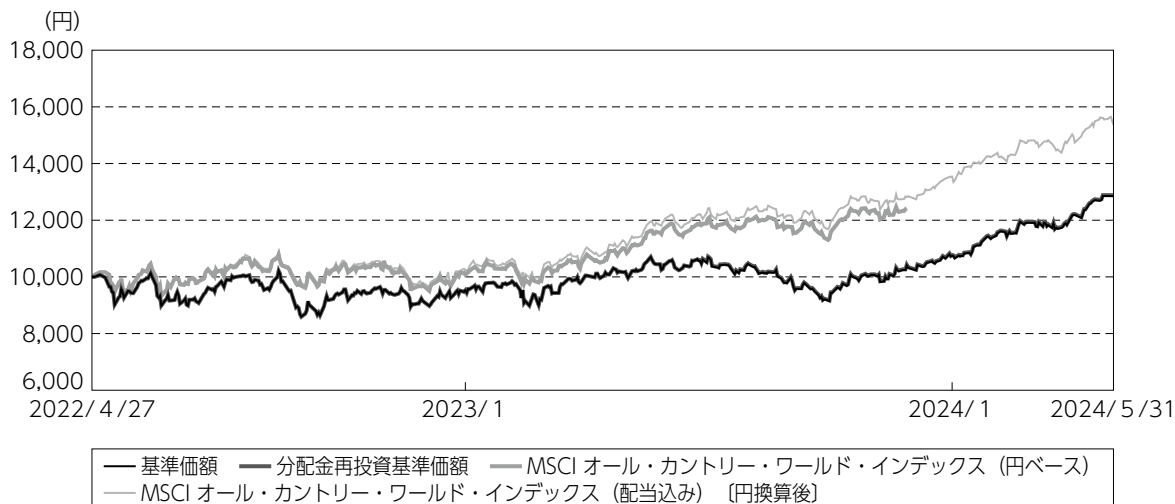
(注) 騰落率は期首比。

MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

設定以来の運用経過

設定以来の基準価額等の推移

（2022年4月27日～2024年5月31日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（円ベース）およびMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2022年4月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 2023年12月29日にMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（円ベース）からMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕に参考指数を変更いたしました。そのため、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（円ベース）の推移は2023年12月28日までを記載、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕の推移は見やすさの観点から設定日（2022年4月27日）より記載しております。

＜当ファンドに投資される際にご留意頂きたい事項＞

- 当ファンドは、ブルーエコノミーの中長期的な成長性に着目し、ブルーエコノミー関連企業の株式への実質的な投資を通じて、ファンドの投資信託財産の成長を目指します。
- 当ファンドは、投資対象銘柄の選定やポートフォリオ構築に際し、企業のファンダメンタルズ（ビジネスモデル、経営の質、成長性および財務状況など）とESG（環境、社会、ガバナンス）の両面を考慮します。
- 当ファンドは、ベンチマークを指定していません。また、環境や社会的な課題に対するインパクト創出を目的とした具体的な目標値や目安を設定していません。

< SBI岡三アセットマネジメントの考える責任投資について >

●エンゲージメント活動

ESGへの取り組みの面を含めて、投資先企業の企業価値の向上を目的として、投資先企業と建設的な対話を行います。

●適切な議決権行使

ESGの観点を考慮したうえで、投資家利益の最大化に資するよう、投資先企業に対する議決権を行使します。

●ESG投資

ESG評価を投資対象の選定に採り入れるESGインテグレーションや、外部運用機関のESG投資状況を確認するESGモニタリングなど、ファンド毎の特性に応じた実効性のあるESG投資を推進します。

< 投資先ファンドの運用会社であるDWSインベストメントGmbHのステewardシップ方針 >

アクティブ・オーナーシップを投資先企業のガバナンス、行動方針、活動の改善と長期的な財務パフォーマンスの向上を後押しする重要な手段と考えています。具体的には、株主としての権利や立場を利用して投資先企業の活動や行動に影響を与えることを目的として、エンゲージメント、議決権行使、株主総会への出席などを通じて、投資先企業との直接的な関わり合いの機会を積極的に設けます。

設定以来の投資環境

(2022年4月27日～2024年5月31日)

グローバル株式市場は、設定当初から2022年10月中旬にかけては、欧米の中央銀行による急速な利上げに伴う世界景気の先行き不透明感が強まり、下落しました。その後は、インフレ指標の下振れ等を受けて、金融引き締め長期化に対する過度な懸念が後退したことや、米国で債務上限停止法案が成立し、債務不履行（デフォルト）が回避されたことなどが好材料視され、上値を試す展開となりました。2023年7月下旬に入ると、中国の経済指標の悪化や高水準のインフレ率等を背景に欧米の中央銀行がタカ派的な姿勢を強めたことなどが投資家心理の悪化に繋がり、上げ幅を縮小しました。11月以降は、欧米で経済指標が景気やインフレの鈍化を示したことや、中銀幹部が利下げの可能性に触れたことなどを受けて利上げ終了観測や将来の利下げ期待が高まり、再び上昇しました。2024年に入ってからは、人工知能（AI）関連銘柄の成長期待が高まったほか、米連邦公開市場委員会（FOMC）で年内3回の利下げ見通しが維持されたことや欧州のインフレ鈍化基調等を背景に米欧の主要中央銀行による利下げへの期待が高まり、3月にかけて続伸しました。しかしその後は、米景気の強さを示す経済指標の発表を受けて、利下げが先送りされるとの見方が広がり、反落しました。4月中旬以降は、大手ハイテク企業の2024年1～3月期決算が良好な内容だったことが好材料視されたほか、米雇用統計や米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回り、年内の利下げ期待が高まったことから、反発しました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

（2022年4月27日～2024年5月31日）

＜ESG海洋関連株式ファンド（愛称「海」）＞

「DWSコンセプト・ESGブルーエコノミー（円建て、ヘッジなしクラス）」を概ね97%以上で組入れ、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」とあわせ、高位の組入れを維持しました。

なお、2024年5月下旬は、短期金融商品主体の安定運用に切り替え、5月31日に償還を迎えました。

○DWSコンセプト・ESGブルーエコノミー（円建て、ヘッジなしクラス）

国連環境計画・金融イニシアティブ等の基準も考慮したESG投資戦略に基づいて日本を含む世界各国の取引所等に上場しているブルーエコノミー*関連企業の株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、ファンドの成長を目指して運用を行いました。

具体的には、設定以降、水産養殖や洋上風力発電などの分野を中心とするポートフォリオを概ね維持しました。また、国連環境計画・金融イニシアティブによる廃棄物セクターに関する新しいガイドラインを踏まえ、廃棄物関連銘柄への投資も行いました。

実質組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

*ブルーエコノミーとは、海や水と直接的または間接的に関連する経済分野における、海洋生態系の回復・保護・維持、クリーンテクノロジー、再生可能エネルギー、循環型資源利用等に基づいた経済活動を指します。

（参考情報）株式への投資比率96.7%（2024年3月末現在）

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行い、国債および政府保証債を組み入れました。

（参考情報）

組入上位10銘柄

（2024年3月末現在）

銘柄名	業種	国・地域	比率
ザイレム	資本財・サービス	アメリカ	5.7%
インターテック・グループ	資本財・サービス	イギリス	5.3%
フグロ	資本財・サービス	オランダ	5.2%
プリスマアン	資本財・サービス	イタリア	5.0%
モウィ	生活必需品	ノルウェー	4.9%
ヴェオリア・エンバイロメント	公益事業	フランス	4.8%
ウエイスト・コネクションズ	資本財・サービス	カナダ	4.5%
アルカディス-N.V.	資本財・サービス	オランダ	4.3%
ネクサンズ	資本財・サービス	フランス	4.3%
ビューローベリタス	資本財・サービス	フランス	4.1%

（注）比率は、「DWSコンセプト・ESGブルーエコノミー」の純資産総額に対する比率です。

（注）DWSインベストメントGmbHのデータを基にSBI岡三アセットマネジメントが作成しております。

主要組入銘柄の概要

ザイレム

- ・ビジネスモデル
ポンプ、水処理装置、計測・制御機器などを製造。
- ・海洋とのかかわり
ソリューション・プロバイダー／海岸保全／水処理
海岸保全用ポンプを提供し、世界の被災地で水位上昇や洪水対策に貢献。また、排水処理システムにより、河川や海洋の環境負荷低減にも貢献。

インターテック・グループ

- ・ビジネスモデル
国際的な検査・試験・認証会社。
- ・海洋とのかかわり
ソリューション・プロバイダー／持続可能な海運業
海運業界にサービスを提供し、環境、安全、規制の要件に適合するよう支援。

フグロ

- ・ビジネスモデル
世界をリードする地理データのスペシャリストであり、技術調査、地理調査、地表のマッピング等を通じ企業を支援。
- ・海洋とのかかわり
ソリューション・プロバイダー／再生可能エネルギー、移行・変革中企業／洋上風力
洋上風力発電所のために海域の特性評価などを手掛ける。さらに、同社の地理データを用いて、各国の沿岸回復戦略の策定を支援することもできる。

プリスマリアン

- ・ビジネスモデル
海底ケーブルなどを製造する国際的なケーブルメーカー最大手。
- ・海洋とのかかわり
ソリューション・プロバイダー／再生可能エネルギー、移行・変革中企業／洋上風力
海底ケーブルの敷設によって洋上風力を電力網に接続することなどを可能にしている。同社の再生可能エネルギーや電力網のためのケーブルは、発電の脱炭素化に貢献。

(注) DWS インベストメント GmbH のデータを基に SBI 岡三アセットマネジメントが作成しております。

(注) 上記はブルーエコノミー関連銘柄の紹介を目的としたものであり、個別銘柄の推奨および組み入れを示唆・保証するものではありません。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年4月27日～2024年5月31日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は、2023年12月28日まではMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（円ベース）でしたが、2023年12月29日以降は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕に変更いたしました。このため、信託期間中に参考指数が変更となったことからファンドとの比較ができないため、騰落率の掲載は行っておりません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年 1 月26日～2024年 5 月31日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	50 (18) (31) (1)	0.431 (0.153) (0.267) (0.011)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.004 (0.004) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	51	0.435	
期中の平均基準価額は、11,540円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

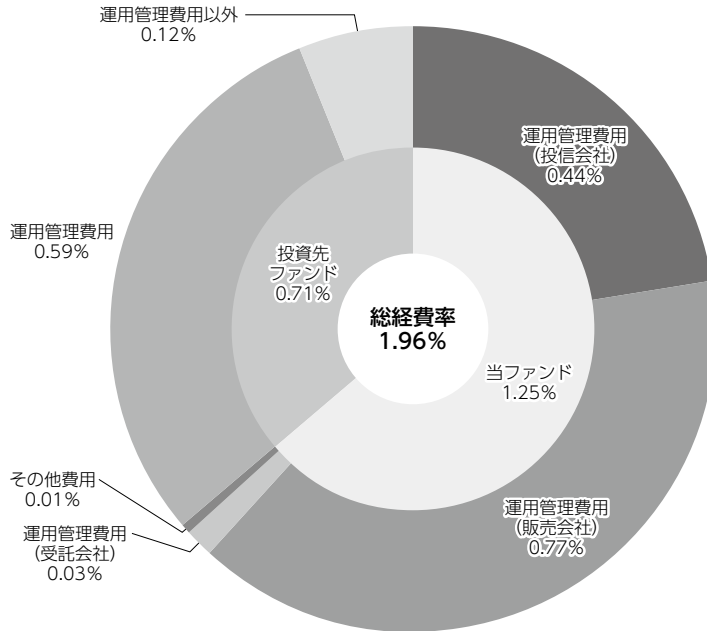
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.96%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.96
①当ファンドの費用の比率	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年1月26日～2024年5月31日)

投資信託証券

銘柄	買付	売付			
		口数	金額		
国内	DWSコンセプト・ESGブルーエコノミー (円建て、ヘッジなしクラス)	口 -	千円 -	口 54,285	千円 670,486

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 1,598	千円 1,597

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月26日～2024年5月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月31日現在)

有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口数	金額
DWSコンセプト・ESGブルーエコノミー (円建て、ヘッジなしクラス)		口 54,285	千円 670,486
合	計	54,285	670,486

(注) 口数の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口数	金額
マネー・リクイディティ・マザーファンド		千口 1,598	千円 1,597

(注) 口数の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年5月31日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 409,471	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	409,471	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年5月31日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	409,471,113
コール・ローン等	409,469,501
未収利息	1,612
(B) 負債	18,317,688
未払解約金	15,929,333
未払信託報酬	2,363,301
その他未払費用	25,054
(C) 純資産総額(A-B)	391,153,425
元本	304,351,657
償還差益金	86,801,768
(D) 受益権総口数	304,351,657口
1万口当たり償還価額(C/D)	12,852円02銭

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,285,202円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は543,965,768円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は239,614,111円です。

○損益の状況 (2024年1月26日～2024年5月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,306,888
受取配当金	1,301,886
受取利息	5,141
支払利息	△ 139
(B) 有価証券売買損益	67,029,043
売買益	89,216,463
売買損	△22,187,420
(C) 信託報酬等	△ 2,388,487
(D) 当期損益金(A+B+C)	65,947,444
(E) 前期繰越損益金	25,227,281
(F) 追加信託差損益金	△ 4,372,957
(配当等相当額)	(31,589)
(売買損益相当額)	(△ 4,404,546)
償還差益金(D+E+F)	86,801,768

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2022年4月27日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年5月31日		資産総額	409,471,113円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	18,317,688円
				純資産総額	391,153,425円
受益権口数	598,077,711口	304,351,657口	△293,726,054口	受益権口数	304,351,657口
元本額	598,077,711円	304,351,657円	△293,726,054円	1万口当たり償還金	12,852円02銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,088,312,388円	1,038,823,933円	9,545円	0円	0.0000%
第2期	1,113,728,817	1,059,998,300	9,518	0	0.0000
第3期	770,958,818	814,378,279	10,563	25	0.2500
第4期	543,965,768	581,238,468	10,685	0	0.0000

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金	12,852円02銭
-----------	------------

＜お知らせ＞

- 当ファンドは、受益権口数が投資信託約款の繰上償還に関する規定に定める10億口を下回る状態が継続しており、また残高の大幅な増加も見込みにくいと推測されたことから、投資信託契約を解約し、受益者の皆さまからお預かりした運用資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって有利であると考え、信託終了（繰上償還）の手続きを行わせていただきました。
上記の内容につきまして、2024年4月26日現在の受益者の方を対象とし、2024年5月21日に書面決議を行いました。その結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成があったことから、2024年5月31日をもちまして信託終了（繰上償還）することとなりました。

マナー・リクイディティ・マザーファンド

第13期 運用状況のご報告

決算日：2023年7月18日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期 中	騰 落 率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2019年7月17日)	10,018		△0.1	68.7	—	146
10期(2020年7月17日)	10,010		△0.1	94.6	—	142
11期(2021年7月19日)	10,004		△0.1	98.5	—	142
12期(2022年7月19日)	9,998		△0.1	80.0	—	329
13期(2023年7月18日)	9,992		△0.1	87.8	—	254

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

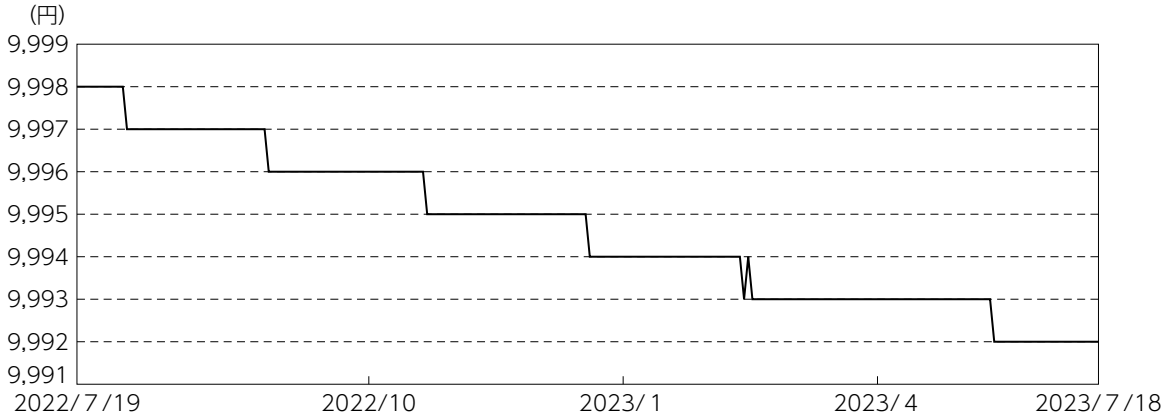
年 月 日	基 準	価 額		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2022年7月19日	9,998		—	80.0	—
7月末	9,998		0.0	79.3	—
8月末	9,997		△0.0	90.5	—
9月末	9,996		△0.0	99.4	—
10月末	9,996		△0.0	83.6	—
11月末	9,995		△0.0	67.2	—
12月末	9,995		△0.0	83.1	—
2023年1月末	9,994		△0.0	67.1	—
2月末	9,994		△0.0	83.0	—
3月末	9,993		△0.1	88.5	—
4月末	9,993		△0.1	98.0	—
5月末	9,993		△0.1	72.5	—
6月末	9,992		△0.1	87.9	—
(期 末)					
2023年7月18日	9,992		△0.1	87.8	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2022年7月20日～2023年7月18日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、市中金利がマイナス圏で推移したことが、マイナスに影響しました。

投資環境

(2022年7月20日～2023年7月18日)

短期金融市場では、日銀が2022年12月の金融政策決定会合において金融緩和政策の一部修正を行ったことから、1年国債利回りが一時プラス圏に上昇する場面が見られました。しかし、2023年1月の金融政策決定会合において、マイナス金利を含む金融緩和政策の継続を決定したことから、1年国債利回りは再度マイナス圏へ低下しました。その後、植田日銀新総裁が就任した後の金融政策決定会合においても、金融緩和政策の維持が決定され、早期の金融緩和修正期待が後退したことから、1年国債利回りは低下し、-0.10%近辺で推移する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年7月20日～2023年7月18日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年7月20日～2023年7月18日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2022年7月20日～2023年7月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、9,994円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月20日～2023年7月18日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 385,039	千円 — (423,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月20日～2023年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年7月18日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	223,000 (223,000)	223,455 (223,455)	87.8 (87.8)	— (—)	— (—)	— (—)	87.8 (87.8)
合 計	223,000 (223,000)	223,455 (223,455)	87.8 (87.8)	— (—)	— (—)	— (—)	87.8 (87.8)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）	%	千円	千円	
第195回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.911	50,000	50,017	2023/7/31
第204回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.669	47,000	47,126	2023/11/30
第207回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.693	46,000	46,154	2023/12/28
第209回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.747	30,000	30,125	2024/1/31
第51回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.835	50,000	50,032	2023/8/14
合 計		223,000	223,455	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年7月18日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円 223,455		% 87.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	31,010		12.2
投 資 信 託 財 産 総 額	254,465		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	254,465,690
コール・ローン等	30,240,774
公社債(評価額)	223,455,679
未収利息	508,715
前払費用	260,522
(B) 負債	227
未払利息	37
その他未払費用	190
(C) 純資産総額(A-B)	254,465,463
元本	254,668,510
次期繰越損益金	△ 203,047
(D) 受益権総口数	254,668,510口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,992円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は203,047円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9992円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は329,672,325円、期中追加設定元本額は17,705,065円、期中一部解約元本額は92,708,880円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

米国ネクストビジョンファンド (為替ヘッジなし)	142,798,395円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	67,619,274円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	17,694,010円
米国ネクストビジョンファンド (為替ヘッジあり)	9,598,611円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	7,567,460円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	3,442,714円
E S G海洋関連株式ファンド (愛称「海」)	3,400,442円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	2,202,610円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	344,994円

○損益の状況 (2022年7月20日～2023年7月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,151,205
受取利息	2,165,940
支払利息	△ 14,735
(B) 有価証券売買損益	△2,326,279
売買損	△2,326,279
(C) その他費用等	△ 3,028
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 178,102
(E) 前期繰越損益金	△ 78,760
(F) 追加信託差損益金	△ 5,065
(G) 解約差損益金	58,880
(H) 計(D+E+F+G)	△ 203,047
次期繰越損益金(H)	△ 203,047

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

- ・SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2023年7月1日)
- ・2024年1月から開始されるNISA成長投資枠の要件に適合させる目的で、デリバティブ取引に係る利用目的を明確化するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2023年7月15日)